



「令和6年度 関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会」の開催結果について

令和6年12月21日
本部事務局地方分権課

1 日 時 令和6年11月23日（土）12時30分～17時30分

2 会 場 奈良女子大学（奈良市）

3 政策提案募集のテーマ

関西全体の持続的な発展の実現

4 審査員

関西広域連合協議会 青木 正繁 委員

関西広域連合協議会 岡田 亜紀 委員

関西広域連合協議会 倉橋みどり 委員

奈良県 山下 真 知事

関西広域連合 三日月大造 広域連合長

5 主な実施内容

(1) 政策提案発表及び意見交換

- ・9大学16チームから政策提案レポートの提出があり、事前の書類審査により選ばれた6大学9チームが政策をプレゼンテーション
- ・審査員に構成団体の若手職員も加わり、意見交換を実施
- ・発表チーム及び政策提案の概要は、別紙のとおり
- ・政策提案資料は、施策の参考としていただくため構成団体に提供済

(2) 大学生等と若手職員との座談会

- ・参加チームの学生と構成団体若手職員が、学生の政策提案や自治体の施策について意見交換したほか、職員の普段の仕事や就職活動等について懇談

(3) 交流会

- ・参加チームの学生と、審査員、構成団体若手職員及び関西広域連合本部事務局の職員が、学生の政策提案等について意見交換を行い、学生は参加チームの枠を越えて交流



政策提案発表の様子



意見交換の様子



交流会の様子

「令和6年度 関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会」発表チーム一覧

【発表チーム数：9チーム】

| 学校名 チーム名 | 政策提案の名称 | 政策提案の概要 |
|---------------------------------------|---|--|
| 【最優秀賞】 奈良県立大学 MURAJ0 | つながるキャンパス、広がる未来 ～広域大学連携による良質な学びと充実した大学生活の提供～ | 関西の大学が連携し、単位互換制度の開講数増加や教職課程の設置促進等に取り組むことで、大学教育の質を高め、大学生活の満足度向上や進学流出抑制、若者流入等につなげる。 |
| 【優秀賞】 関西学院大学 早川ゼミ | 過去から学び、未来につなげる地域防災運動会 | 地域の被害特性に合わせた防災運動会を実施することで、実践的な防災知識の習得や、幅広い世代の防災意識向上、地域コミュニティの強化につなげる。 |
| 【優秀賞】 追手門学院大学 藤好ゼミ チーム いちご農園 | Everyone's Park ～すべての人が繋がる遊び場へ～ | 障がいの有無等を問わず、誰もが遊べる公園と交流施設を組み合わせた「新・インクルーシブ公園」を設けることで、インクルーシブ公園の普及やバリアフリー設備の増加につなげる。 |
| 【特別賞】 同志社大学 野田ゼミ | B 級伝統的工芸品のアウトレット市場開拓戦略 | 伝統的工芸品のB級品について、事業者プラットフォームを組成し、アウトレットモールで販売することで、ブランドの認知度や正規品の購買意欲の向上、伝統的工芸品の需要創出につなげる。 |
| 《入賞》 大阪経済大学 下山ゼミ MASK | EGA0 のおもてなしによる何度も来たくなる関西へ | 笑顔による接客や方言の活用、専門知識の質向上などを通して、観光客の満足度を高めることで、リピーターや売上の増加、地域への人材定着促進につなげる。 |
| 《入賞》 四国大学短期大学部 阿波嬢 | 過疎地・観光地における移動のシムレス化 ～生活の足と観光客の移動手段の確保を目指して～ | 過疎問題を抱える中山間地域において、住民に加えて観光客もターゲットとしたMaaSを構築することで、住民及び観光客の移動手段を確保し、利便性の向上につなげる。 |
| 《入賞》 奈良県立大学 鹿せんべい・観光 | Z 世代に刺され！「自然界隈」に大布教★ | Z 世代の中でも自然好きの層をターゲットとして、関西の自然スポットを紹介し、ポイント・特典で誘導するWEBサイトを立ち上げ、オーバーツーリズムの緩和や地域の活性化につなげる。 |
| 《入賞》 奈良県立大学 鹿せんべい・防災 | ゆるキャラと若者が地域の命を災害からまもる | 多くの人に親しまれている「ゆるキャラ」を活用し、防災イベントの実施や防災グッズの作成を通して、住民の防災意識を高め、地震による人身被害の減少につなげる。 |
| 《入賞》 追手門学院大学 藤好ゼミ チーム OIDAI | 不動のガイドさん ～縁の下のマンホール～ | マンホールに矢印や二次元コード等をデザインすることにより、災害時には避難経路等の情報を提供し、平時には観光スポット等の地域情報を提供することで、地域振興や防災意識の向上を図る。 |